

2024 年度事業報告書

一般社団法人 PHR 普及推進協議会

I. 事業期間

2023 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日

II. 事業報告

個人の生活に紐づく医療・介護・健康等に関するデータ（Person Generated Data）を本人の判断のもとで利活用する仕組みを前提とする）の適正な普及推進のため情報交換・情報発信を行い、社会の健康、安全のより一層の向上に寄与することを目的とし、国の PHR 普及推進の取り組みを踏まえつつ活動を行った。4 年目となる今年度も、PHR 業界発展のための礎となる PHR サービスの質の維持・向上と PHR データ流通ルールの策定について具体的な検討を進めた。

当年度は、令和 5 年 7 月に発足した PHR サービス事業協会と協議をし、合意を得た部分について「民間事業者の PHR サービスに関わるガイドライン（第 3 版）」として共同発出した。

「連携・交流委員会」の活動により、賛助会員は 4 社増の 47 社、特別会員（自治体会員）は 4 自治体増の 17 自治体となった。「広報委員会」を新設し、「PHR 普及推進フォーラム 2024 の開催」や広報コンテンツとして AMED 作成の 2 つの PHR 啓蒙の漫画形式による副読本を監修、合計 3 回の座談会を開催し、PHR の普及推進を促す方策を進めた。また、令和 6 年能登半島地震を契機に大規模災害発生時の PHR の役割について課題を整理し、平時から準備・発災時に活用できるように提言、社会実装を実現する目的で「大規模災害発生時の PHR の役割に関する特別委員会」を新設し活動を開始した。

III. 会議開催

以下の会議を開催した。

- ・ 理事会《5 回》：2023 年 12 月 01 日、2024 年 1 月 24 日、3 月 19 日、5 月 08 日、8 月 26 日
- ・ ガイドライン策定特別委員会《3 回》：2023 年 10 月 11 日、2024 年 1 月 30 日、4 月 24 日
- ・ 連携・交流委員会《12 回》：2023 年 10 月 24 日、11 月 29 日、12 月 22 日、2024 年 1 月 24 日、2 月 28 日、3 月 18 日、4 月 24 日、5 月 23 日、6 月 27 日、7 月 25 日、8 月 22 日、9 月 26 日
- ・ 広報委員会《12 回》：2023 年 10 月 24 日、11 月 28 日、12 月 26 日、2024 年 1 月 23 日、2 月 19 日、3 月 27 日、4 月 24 日、5 月 22 日、6 月 22 日、7 月 24 日、8 月 28 日、9 月 25 日
- ・ 大規模災害発生時の PHR の役割に関する特別委員会《6 回》2024 年 3 月 29 日、4 月 23 日、5 月 29 日、6 月 27 日、7 月 25 日、9 月 19 日

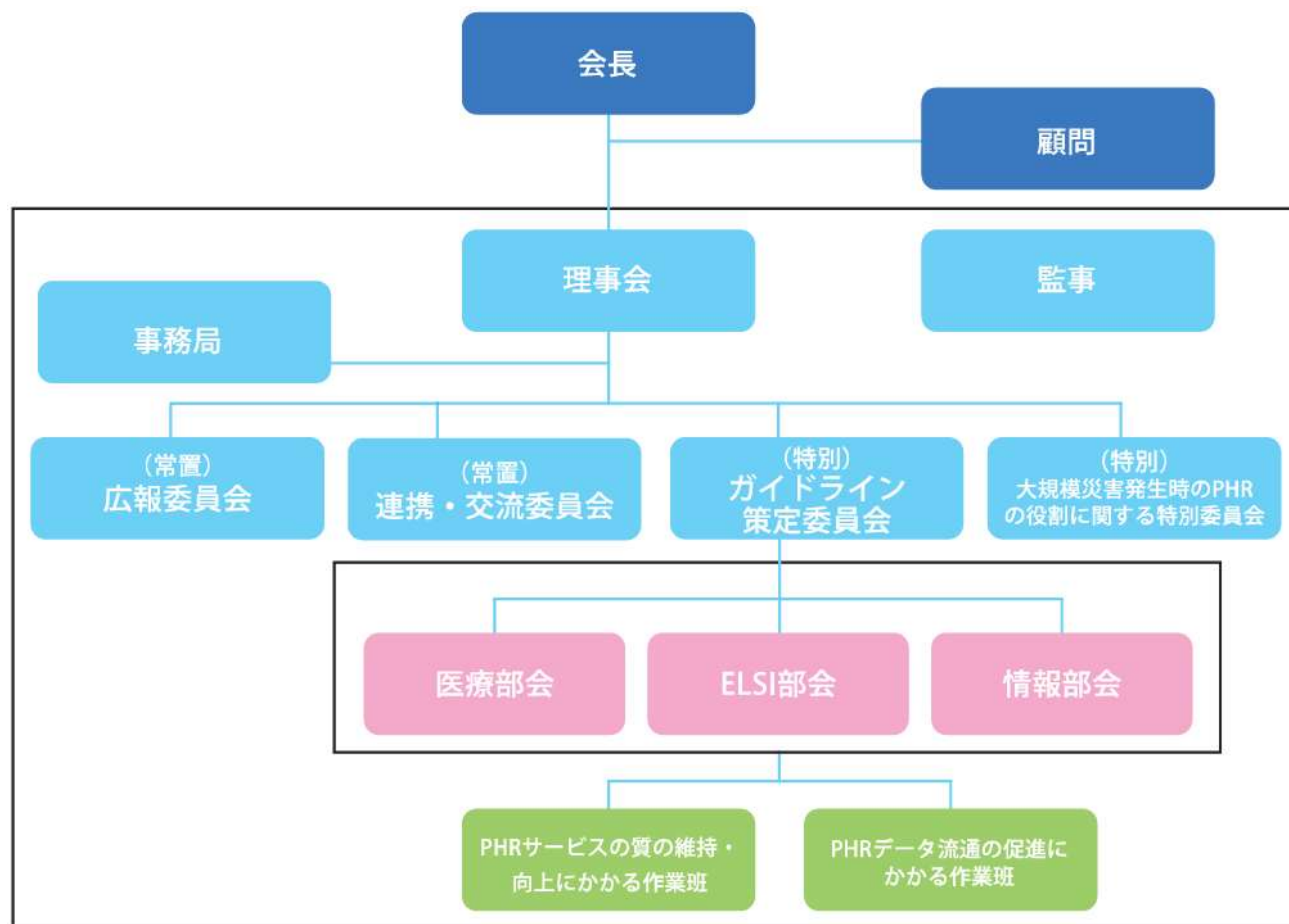
IV. 主な取り組み

① PHR さーびすガイドライン策定事業の実施

「民間事業者の PHR サービスに関わるガイドライン」第 2 版の改訂に向けて、下記作業班を組成し、アカデミア、専門家のみでなく、民間事業者を巻き込んだ具体的な議論を重ね、PHR サービス事業協会とも共同で「民間事業者の PHR サービスに関わるガイドライン」第 3 版を公開した。合わせて、PHR サ

ービスの普及と発展に重要な PHR のデータ連携にかかる追補や作業班 1 の活動報告書、及び自治体において適切な PHR サービスの導入を行う一助となるよう自治体が PHR サービスを導入する場合の留意点についても追補として公開した。

- ・ 作業班① PHR データ流通の促進にかかる作業班
- ・ 作業班② PHR サービスの質の維持・向上にかかる作業班



② 賛助会員・特別会員の獲得

当団体のめざす PHR 普及の趣旨に賛同する民間企業への賛助会員の募集活動を行い、前年度より 4 社多い 47 社（2024 年 9 月 30 日現在）が賛助会員となっている。

<賛助会員>

アストラゼネカ株式会社

株式会社アルム

株式会社 EM システムズ

株式会社 Welby

株式会社 Wellmira

AOS データ株式会社

MRT 株式会社

エムジーファクトリー株式会社

株式会社エムティーアイ

エレコムヘルスケア株式会社

沖電気工業株式会社

オムロンヘルスケア株式会社

クロスウェイ株式会社

キュアコード株式会社

公益財団法人京都高度技術研究所

KDDI 株式会社

沢井製薬株式会社	日本マイクロソフト株式会社
株式会社三和製作所	合同会社 beyondS
医療法人社団 善仁会	PSP 株式会社
株式会社 JMDC	P H C 株式会社
シミックホールディングス株式会社	フューチャー株式会社
株式会社スカラ	ブラック・ダック・ソフトウェア合同会社
株式会社スギ薬局	株式会社ベルシステム 24
セコム株式会社	株式会社ヘルステック研究所
武田薬品工業株式会社	みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
株式会社 DUMSCO	三井住友フィナンシャルグループ
TIS 株式会社	メドピア株式会社
TXP Medical 株式会社	株式会社ユーズテック
テルモ株式会社	株式会社リーバー
東京海上ホールディングス株式会社	
東和薬品株式会社	
有限責任監査法人トーマツ	(50 音順)
日本オラクル株式会社	
日本光電工業株式会社	

また、特別会員（自治体会員）として 17 団体が入会している。

<特別会員>

一般社団法人阿波あいネット	東京都デジタルサービス局
大阪府	前橋市
門真市	松本市
神奈川県	三重県多気町
北九州市	三重県度会町
吉備中央町	三重県明和町
京都市	兵庫県
京都府	
神戸市	(50 音順)
デンマーク王国大使館	

③ イベントの開催

a. PHR 普及推進フォーラム 2024（2024 年 2 月 4 日）

主催：一般社団法人 PHR 普及推進協議会

後援：総務省、厚生労働省、経済産業省、デジタル庁、健康・医療戦略推進本部日本医師会、日本医療情報学会、日本救急医学会、日本糖尿病学会、公益財団法人京都高度技術研究所(ASTEM)一般社団法人 NeXEHRs、

PHR サービス事業協会、日本経済新聞社、読売新聞社

関係省庁・PHR 関連機関・企業等を交えて、民間での PHR 利活用についての理念共有を図るために「PHR 普及推進フォーラム 2024-本人主体の PHR で実現する医療 DX の近未来-」を開催し、山本英紀氏（厚生労働省健康・生活衛生局健康課長）、橋本泰輔氏（経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業課長）、内田雄一郎氏（総務省情報流通行政局地域通信振興課デジタル経済推進室長）、園田愛氏（株式会社インテグリティ・ヘルスケア代表取締役社長）、平井岳大氏（アストラゼネカ株式会社メディカル本部データサイエンス部スタティスティシャン）ご講演いただいた。

加えて、石見代表理事よりガイドライン策定事業の成果報告を行った。

また、PHR にかかる様々な立場（行政、医療者、アカデミア、事業者、市民団体）の方をパネリストに迎え、PHR サービスに対する考えや期待・課題等についてパネルディスカッションを行った。

本フォーラムには、アカデミア、民間事業者、PHR 関連団体より 300 名を超える申込があり、今後の PHR サービスの創出および普及・発展に向けた理念を共有するよい機会となった。

B. PHR 座談会（2023 年 12 月 21 日、2024 年 3 月 18 日、2024 年 8 月 26 日）

主催：一般社団法人 PHR 普及推進協議会

PHR の活用の必要性和可能性を PHR サービス事業者、医療従事者、一般市民に伝えることを目的に座談会を開催し、一般社団法人 PHR 普及推進協議会の HP、賛助会員企業 HP（日本マイクロソフト株式会社）に掲載した。

第 1 回のテーマは「患者と医療者をつなぎ支える PHR サービス」で石見拓氏（PHR 普及推進協議会代表理事／京都大学大学院教授）が座長となり、田中倫夫氏（アストラゼネカ株式会社執行役員 古屋博隆氏、安達幸佑氏（テルモ株式会社）石川智之氏（マイクロソフト コーポレーション（米国本社）大嶽和也氏（日本マイクロソフト株式会社）が参加した。

第 2 回のテーマは「女性の生活に寄り添う PHR サービス」で、難波美智代氏（一般社団法人シンクパール代表理事／PHR 普及推進協議会理事）が座長となり、那須理紗氏、帆足和広氏（株式会社エムティーアイ）藤岡由希氏（シミックソリューションズ株式会社）、關まり子氏（シミック株式会社臨床事業本部）が参加した。

第 3 回のテーマ「【丹波篠山の事例から学ぶ】自治体が求める PHR サービス」で、片山寛氏（丹波篠山市医師会 会長）が座長となり、堂東美穂（兵庫県丹波篠山市 保健福祉部健康課 課長）、阿部達也（一般社団法人 PHR 普及推進協議会 専務理事／株式会社ヘルステック研究所 代表取締役）、樺島広子（東和薬品株式会社 デジタルヘルス企画推進室 課長）、吉田博人（TIS 株式会社 デジタルイノベーション事業本部ヘルスケアサービス事業部エグゼクティブフェロー）が参加した。

c. 勉強会・情報交換会

全国各地の自治体における PHR 利活用に関する取り組みについて、現場で推進している担当者の生の声をもって情報共有を行うこと、また、現在進行中の課題について、産官学民から構成される PHR 普及推進協議会のメンバーにより、より深く、より広く、より長期の観点で解決策を議論することを目的として、デンマーク大使館および丹波篠山市を招いて自治体勉強会を開催した。

更に、特別会としてデンマーク大使館共催と共催で「患者の安全性向上と経費削減を目指すデジタルヘルス」を開催したほか、分散管理型 PHR データ流通基盤構築に関わる AMED 研究班と共催で「自治体・民間事業者向け AMED 事業の取組み紹介・意見交換会」を開催した。

特別会員（自治体）・賛助会員（民間企業）に対して、各々の取り組みを進める上での知見を得る機会とするとともに、一緒に取り組みを進める協業先を見つけることができるネットワーキングの場にもなっている。

(1) 自治体勉強会（2023 年 10 月 23 日、2024 年 8 月 26 日）

主催：一般社団法人 PHR 普及推進協議会

(2) 特別回（2023 年 10 月 25 日）

主催：デンマーク王国大使館、一般社団法人 PHR 普及推進協議会

場所：デンマーク大使館公邸（渋谷区代官山猿楽町） およびヒルサイドプラザ

■セミナータイトル：デジタル化とヘルスケア

講演①『持続可能性の観点からのデンマークへの投資について』 演者：富士フイルムホールディングス株式会社 代表取締役社長・CEO 後藤 禎一様

講演②：デンマークのデジタルヘルスプラットフォーム及び服薬・投薬記録の共有システムについて

演者：デンマークヘルスデータ局次長 ビベケ ファン デア スプロング 様

講演③：日本流 PHR を活用したヘルスケア・医療・介護 DX の未来像

演者：一般社団法人 PHR 普及推進協議会 代表理事 石見 拓

企業によるプレゼンテーション

- ・ Partisia

- ・ フロントデスクジャパン株式会社

パネルディスカッション：「デジタルヘルスの近未来 課題と展望」

(3) 自治体・民間事業者向け AMED 事業の取り組み紹介・意見交換会（2024 年 8 月 26 日）

主催：一般社団法人 PHR 普及推進協議会、AMED 研究班

場所：京都大学東京オフィスおよびオンライン

現地：33 名、オンライン：39 名

講演①：民間事業者の PHR サービスに関わるガイドライン（第 3 版）の概要

演者：一般社団法人 PHR 普及推進協議会 代表理事 石見 拓

講演②：AMED 事業の取り組み：概要

演者：大阪歯科大学 医療イノベーション研究推進機構 事業化研究推進センター 教授

山本 景一 様

講演③：PHR の地域実装

演者：丹波篠山市医師会 会長 片山 覚 様

パネルディスカッション

- ・ モデレーター

一般社団法人 PHR 普及推進協議会 代表理事 石見 拓

- ・ パネラー

丹波篠山市医師会 会長 片山 覚 様

丹波篠山市 市役所 保健福祉部健康課 課長 堂東 美穂 様

東和薬品株式会社 デジタルヘルス企画推進室 課長 樺島 広子 様

d. 第 17 回 IT ヘルスケア学会年次学術大会 シンポジウム（2024 年 8 月 30 日）

主催：IT ヘルスケア学会、一般社団法人 PHR 普及推進協議会

医療健康福祉分野における ICT（情報通信技術）の応用や社会実装に取り組む大学、研究機関、医療機関、企業等の研究者、および医療・介護サービスの従事者、個人等が、その課題や成果について発表し、議論し、新たな方向性を見いだす場として開催された本学会に、代表理事を始めとし計 6 名の理事がシンポジウムセッション「本人主体の PHR で実現する健康・医療・介護 DX」に登壇した。各講演の後、当協議会 代表理事の石見拓と、名桜大学人間健康学部健康情報学科 上級准教授の本村 純様が座長を務め、テーマに沿ったパネルディスカッションが行われた。このディスカッションでは、聴講された方との質疑応答も含めて、活発な意見交換が行われた。また、石見代表理事は、一般公開シンポジウム「PHR でやんばるがどう変わるのか」のパネルディスカッションへも登壇した。

- ・日時：8 月 29 日（木）12:50～8 月 31 日（土）12:50
- ・場所：名桜大学（沖縄県名護市） 学生会館 SAKURAUM
- ・シンポジウムテーマ：本人主体の PHR で実現する健康・医療・介護 DX
- ・登壇理事および演題

講演①『本人主体の PHR で実現する健康・医療・介護 DX 実現に向けた取り組みの紹介』

京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 教授 石見 拓 氏

講演②『PHR を活用した産業保健革命』

産業医科大学 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 教授 大神 明 氏

講演③『自身の意思で活用できる PHR アプリ・サービスの開発と実装／能登半島被災地支援の取り組みから見えてきたこと』

株式会社ヘルステック研究所 代表取締役社長 阿部 達也 氏

講演④『PHR と先端技術が実現する「より良い医療のかたち」』

日本マイクロソフト株式会社 パブリックセクター事業本部 ヘルスケア統括本部 業務執行役員 大山 訓弘氏

講演⑤『健康・医療・介護 DX 実現のために求められる情報標準化の取り組み 現状・課題・展望』

大阪歯科大学 医療イノベーション研究推進機構 事業化研究推進センター データサイエンス部門 教授 山本 景一 氏

講演⑥『地域の情報プラットフォーム ヘルスケアパスポートの展開：地域包括ケアでの活用やがん患者支援の具体例』

TIS 株式会社ヘルスケアサービス事業部 事業部長 丸井 崇 氏

- ・パネルディスカッション

④ 大規模災害発生時の PHR の役割に関する取り組み

令和 6 年度能登半島地震を契機に、災害時にむけた PHR の活用、弊社としての活動方針を理事中心にて議論し、以下の活動を実施した。

能登半島地震 被災地支援 - PHR で何ができるか考えよう -（2024 年 2 月 4 日）

PHR 普及推進フォーラム 2024 の追加イベントとして開催し、災害現場に携わるステークホルダーより現場の実態、真のニーズを共有した。また、弊社会員のソリューション・ネットワーク・ノウハウ

ウを集合知とし、震災支援の具体策を議論、被災地への健康管理の機器、IT ソリューションの無償提供の申し出でをうけ、かつ、今後の活動協力の賛同を得た。

大規模災害時の PHR 役割に関する特別委員会を新設（2024 年 3 月 21 日）

プロバスケットボールチーム（金沢武士団）の 震災復興イベントにて PHR 体験ブース設置（2024 年 4 月 6 日～7 日）

PHR ブースを開設し被災地の方への PHR を活用した健康管理の有用性を体験、普及することに努めた。

七尾市に設置した PHR 体験設備の開所式（2024 年 7 月 13 日）

七尾市田鶴浜体育館駐車場に設営したトレーラーハウス内に、PHR を体感できる機器を会員企業からのボランティアにて設置した。田鶴浜復興イベント「笑顔で楽しまん会」にて、該当設備に関する紹介を実施し、仮設住宅居住者、及び近隣住民の健康管理用の環境を開所した。

ヤフー基金「2024 年度 能登半島地震 復旧・復興支援助成プログラム」からの助成金を受領（2024 年 7 月 24 日）

本助成を活用し、七尾市田鶴浜地区の仮設住宅および被災地域の健康維持のための PHR 測定会の定期開催の準備を金沢武士団・地元住民と行った。

七尾市での PHR 測定体験イベントの実施（2024 年 8 月 14 日）

田鶴浜体育館駐車場に設置されたトレーラーハウスで PHR（パーソナルヘルスレコード）測定体験イベントを開催した。仮設住宅の住民、中学生、地域の方々が参加し、PHR 機器を使って取得したヘルスデータを「健康日記」にデータ登録する PHR の測定体験を行った。

⑤その他

会報誌（PHR 普及推進協議会通信：1 回）を発行し、最新情報や知見等の情報発信を行った。また、連携・交流委員会を中心に、「交流会」を開催し、会員間での情報共有やコミュニケーションの場を設けた。

PHR 啓蒙漫画

PHR をより身近に感じてもらうため、分散管理型 PHR データ流通基盤構築に関わる AMED 班作成の啓蒙漫画を監修した。タイトルは「生活習慣の改善に役立つ PHR」「災害時の医療・健康支援に役立つ PHR」である。これにより、PHR の利便性と重要性を視覚的かつ親しみやすく伝えることを目指している。

以上